

氏名 細川摩耶 法科大学院等の在籍年次 3年 (インターン当時2年)

*このレポートは主としてこれからインターンシップに行くことを考えている人達に情報提供を行うことを目的とするものです。以下の項目について適宜行数を増やしながら書き込んでいってください。文字数及び頁数に制限はありません。

*このレポートは、記名で法学研究科のウェブサイトに掲載されます。もし氏名掲載を希望しない場合には、その旨をお知らせ下さい。

*重要情報についてはできる限り具体的に記載して下さい。また、後輩の方達に向けた率直なアドバイスをお願いいたします。

1 受入事務所と滞在期間

受入事務所：TNY consulting Malaysia SDN.BHD.

滞在期間：2020.2.18～2020.3.18 (実働期間は2.19～3.17)

2 事務所の業務・構成・勤務条件及びインターンシップの内容等

事務所の業務：マレーシアに進出している日系企業のサポート

メンバー：日本人弁護士2人、現地スタッフ5人(内マレーシア弁護士資格を持つ方が4人)

勤務時間：8:30～17:30 (1時間の昼休憩あり) 土日はお休み

インターンシップの内容

- ・条文や判例の和訳、法改正の有無の調査
- ・新しい判例をリサーチ+要約してレポートを作成
- ・現地スタッフ作成のレポートの和訳
- ・日系企業の社内規程のリーガルチェック
- ・事務所のFacebookページの更新 (英語と日本語で毎日インターン日記を作成)

3 宿舍及びその他の生活環境について

事務所がKLセントラル駅直結のビルの中にあつたので、KLセントラル駅の真向かいのCity central hotelというホテルに宿泊しました(事務所から徒歩15分程)。ホテルは清潔で、スタッフさんがとてもフレンドリーで過ごしやすかったです。ただ、ホテルがある辺り

(Blickfieldsという地域です)は治安があまり良くないようで、事務所のメンバーに夜は気をつけるよう心配されたので、その辺りで宿を考えているのであれば21時半にはホテルに帰ることをお勧めします。私自身は20時以降は基本的にホテルにいたのですが、全くトラブルに見舞われることはなかったので、少なくとも夜出歩かなければ問題ないと思います。

周辺にはスーパー・コインランドリー・コンビニ・飲食店が沢山あるので生活には困りません。なによりKLセントラル駅直結のNUセントラルというショッピングモールがとても便利でした。レストランやフードコート等飲食店がとても充実しているほか、スーパーや薬局もあります。ファミマもあります。私はそこで夜ご飯を食べたり、朝食用の果物やヨーグルトを購入していました。

街は基本的に綺麗で、治安も悪くはありません。食費が安いのは勿論ですが、交通費(電車賃・タクシー代)もかなり安くかつ便利です。タクシーはGrabアプリをお勧めします。駐在している日本人の方が多いので、日本のお店(DAISOや無印良品等)や日本食レストラン等も結構あります。

4 出発に向けた準備等について

英語の勉強は英会話のCDを大学への行き帰りに聞き流していたのと、「法令用語日英標準対訳辞書」というものがネット上にあったので、それを通読してから行きました。

あとはマレーシアのビジネスに関する本を1冊さらっと読みました。

私は体があまり強くないので(実際にインターン中に風邪を引いて熱を出しました)、保険関係はしっかり準備していったのと、現地の病院についても少し調べていました。予防接種は受けていません。

5 インターンシップに要した費用

交通費(航空チケット代)：約6万円

宿泊費(+観光税)：約9万円 マレーシアは1日あたり10RMの観光税がかかります

食費+観光費：約4万円

6 これからインターンに行く人達へのアドバイス等

・勉強面について

英語の勉強はしておくに越したことはないです。読み書きは辞書を駆使すればあまり苦労はしませんが、会話はそうはいかないので。ただ、英語が上手に使えないからといって萎縮することはないです。日本人弁護士の先生方とは勿論日本語でやりとりできますし、現地スタッフの人もとても優しく、うまく会話ができるよう気遣ってくださいます。萎縮して話さない方が勿体ないので、現地に着いたら腹を決めて積極的に動きましょう。

加えて、マレーシアという国についての事前知識があると楽かと思います。法制度についての詳しい知識はそれほど必要ないと思うので、できれば顧客である企業の視点を知るという意味で、ビジネス向けの本を読むとよいかなと。

法律用語を英語でどう表現するのか、和訳する際はどう訳すのか等についても資料があるとかかなり和訳作業が楽になると思います。

・生活面について

マレーシアは年中暑いですが、平日の暑い時間はほぼ事務所にいるのであまり問題ありません。事務所内に限らず建物内はかなり冷房が効いているので、上着を忘れないように気をつけてください。下手したら風邪をひきます。仕事中は長袖シャツにジャケットかカーディガンを羽織っていました。

1ヶ月過ごすとなると洗濯は必須なので、クリーニングサービスがあるところか、コインランドリーが近くにあるところを選ぶことをお勧めします。

ご飯は安くてとても美味しいです。マレーシア料理、中華料理、インド料理をはじめ、いろんな料理が楽しめるかと思います。ただ辛いものの食べ過ぎには要注意です(私はよくお腹を壊していました)。

・メンタル面について

一人での海外渡航はこれが初めてだったので、出国前も入国してからもひたすら不安で、最初の数日はことあるごとに半泣きになりながら過ごしていました。けれども不思議なことに、帰国してみると、1ヶ月楽しかったなあという感想しか出てこないのです。

海外インターンに興味があるけれど一人での海外生活に不安があって行くという決断に踏み切れない人、行くと決めたけれど不安が拭いきれず後ろ向きになっている人もいるかもしれません。でも大丈夫です。マレーシアの人は皆さんとても親切ですし、弁護士の先生方も色々気遣い、助けてくださいます。少しでも行きたいという気持ちがあるなら、その気持

ちに素直になって、チャレンジしてみしてほしいなと思います。そして行くを決めたからには、自分が海外インターンで何を学びたいのかの主軸をしっかり持って臨んでほしいと思います。

7 インターンシップの有用性等に関する評価及び感想

国際関係の仕事に就きたいと思っていた私にとって、この1ヶ月はとても有意義なものでした。実際に海外の事務所で働く体験をすることは、こういった機会でもなければ中々できないことだと思います。1ヶ月の間に私が任せていただいた業務は条文や判例の和訳が大半でしたが、そういった小さな仕事であっても積み重なっていけば、海外進出している企業さんの役に立つのだと身を持って感じる事ができ、大きな達成感を得ることができました。

また、業務内容は勿論ですが、日本とは違う文化を体験できるというのも大きな利点だと思います。月並みな言葉ですが、海外で暮らすことによって視野が広がり、日本という国を新たな視点から見つめ直すきっかけになります。自分に染み付いていた考え方が、島国である日本ならではのものだったのだと気づかされることも多々ありました(異質なものに対する敵対心の強さがその筆頭かと)。幸い自由時間はたっぷりあったので、観光は勿論、モスクでイスラム教について学んだり、美術館や歴史博物館等に足を運びマレーシアについて学んだりしたことも良い経験になりました。

司法試験というプレッシャーの中、1ヶ月間海外に行くというのは中々勇気がいることだと思います。私は2Lの春に行ったので、国内エクスターンに行った人たちと自分とを比べて、やはり日本での実務経験を得る方がよかったのではないかと思うこともありました。しかし、振り返ってみると、自分が行く前に想像していたよりもずっと有意義な1ヶ月を送ることができました。海外での業務に興味のある方は、インターン生という身分で参加できるうちに、たくさん経験を積んでほしいです。

最後に、今年はコロナウィルスの関係で帰国当日にクアラルンプールがロックダウンされるなどギリギリのスケジュールでしたが、無事に発症することもなくインターンを終えることができてホッとしております。このように、少々のイレギュラーはどうにかなりますので、大丈夫です！サポートしてくださった事務所の皆様方、教務の方々に心から感謝申し上げます。